

令和4年度萩市
子育て世帯意識調査報告書

萩 市

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査実施方法	1
3 集計に当たっての注意点	1

II 調査結果

1 結婚・出産・子育てのことについて	2
2 子育て情報の入手先について	4
3 子育て支援センターHAGU（はぐ）について	5
4 仕事と子育ての両立について	6
5 子ども・子育て施策について	7

III 前年度調査との比較

1 結婚・出産・子育てのことについて	9
2 子育て支援センターHAGU（はぐ）について	11
3 仕事と子育ての両立について	12
4 子ども・子育て施策について	13

IV 総括

1 結婚・出産・子育てのことについて	14
2 子育て情報の入手先について	15
3 子育て支援センターHAGU（はぐ）について	15
4 仕事と子育ての両立について	16
5 子ども・子育て施策について	16

1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第2期萩市総合戦略の進捗管理や、今後のまちづくりの参考とするため、市民の子育て支援に関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するために実施しました。

2 調査実施方法

調査対象者

全ての保育所等園児及び小学生の保護者

調査方法

保育所等園児の保護者は各施設、小学生の保護者は各学校を通じて配布。

インターネット上の回答フォームから回答。

調査期間

令和4年10月11日（火）～11月22日（火）

実施状況

	配布数	回答数	回答率
保育所等園児	940件	827件	32.7%
小学校児童	1,590件		
計	2,530件		

3 集計に当たっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

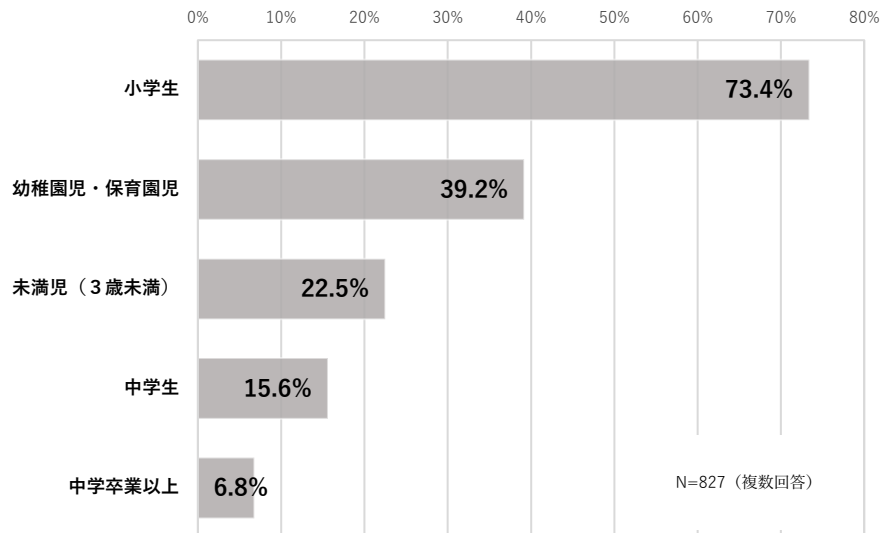
グラフ内に表示している「N=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

算出されたパーセントは小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合があります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は100.0%を超えます。

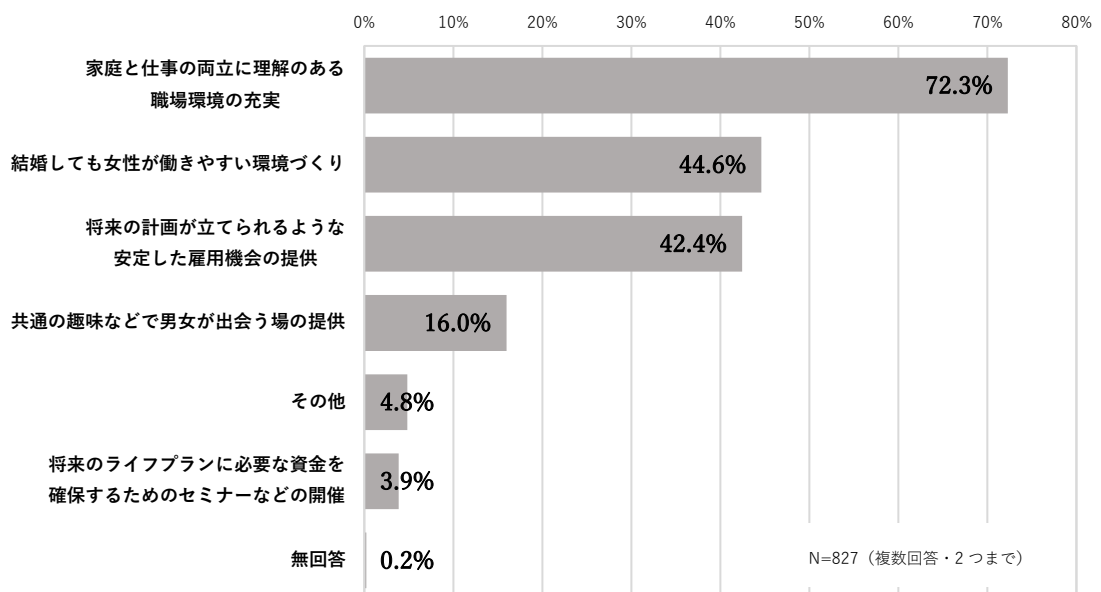
II 調査結果

◆お子さんについて、お答えください。(あてはまるもの全てを選択)

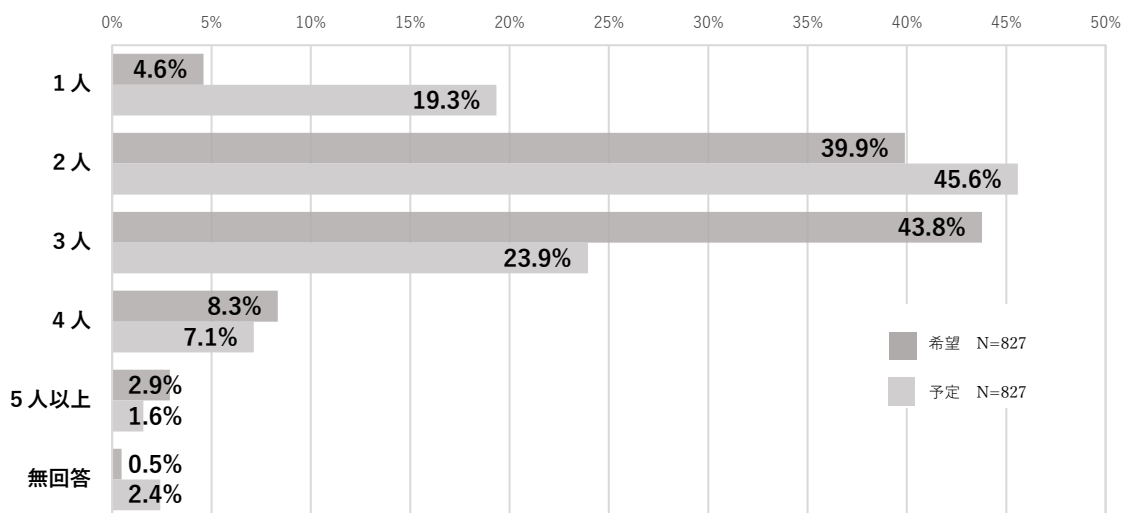


1 結婚・出産・子育てのことについて

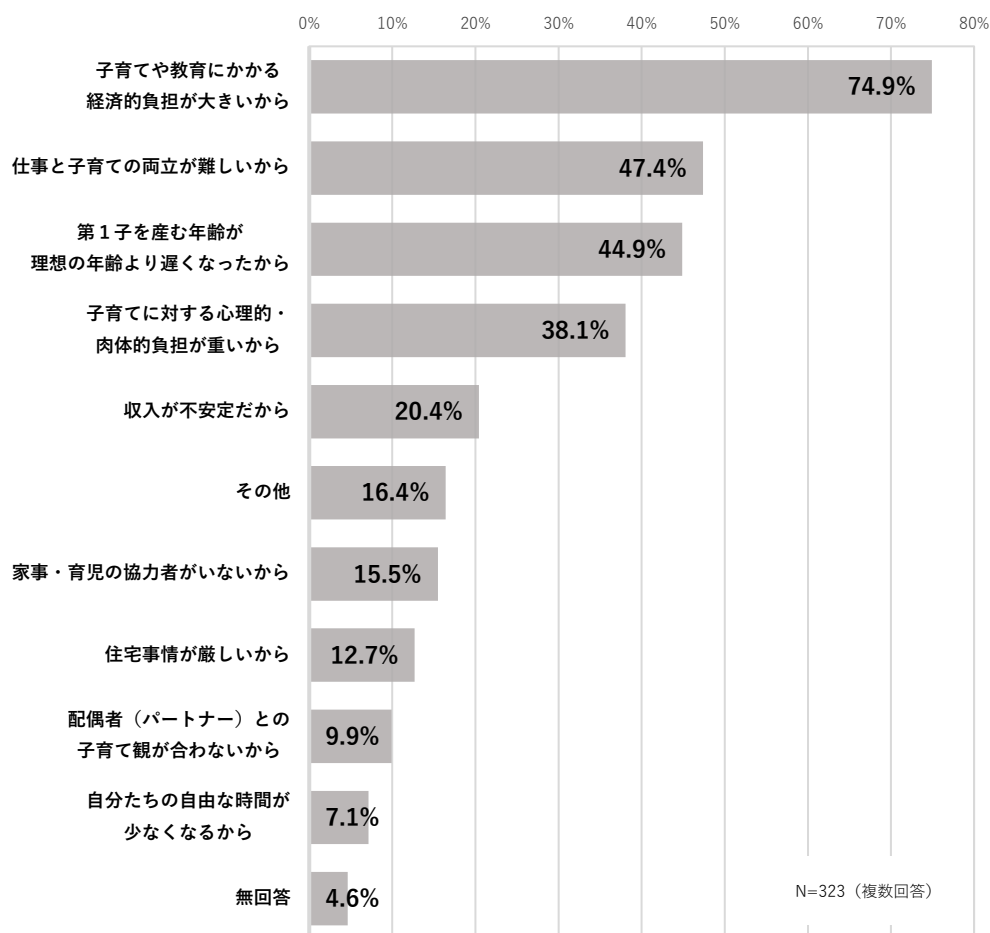
◆結婚しやすい環境づくりについて、どのような支援があればいいと思いますか。また思いましたか。(2つまで選択可)



◆あなたが希望する子ども（希望子ども数）は何人ですか。また現在のお子さんを含め、今後何人の子ども（予定子ども数）を持つ予定ですか。（1つずつ選択）

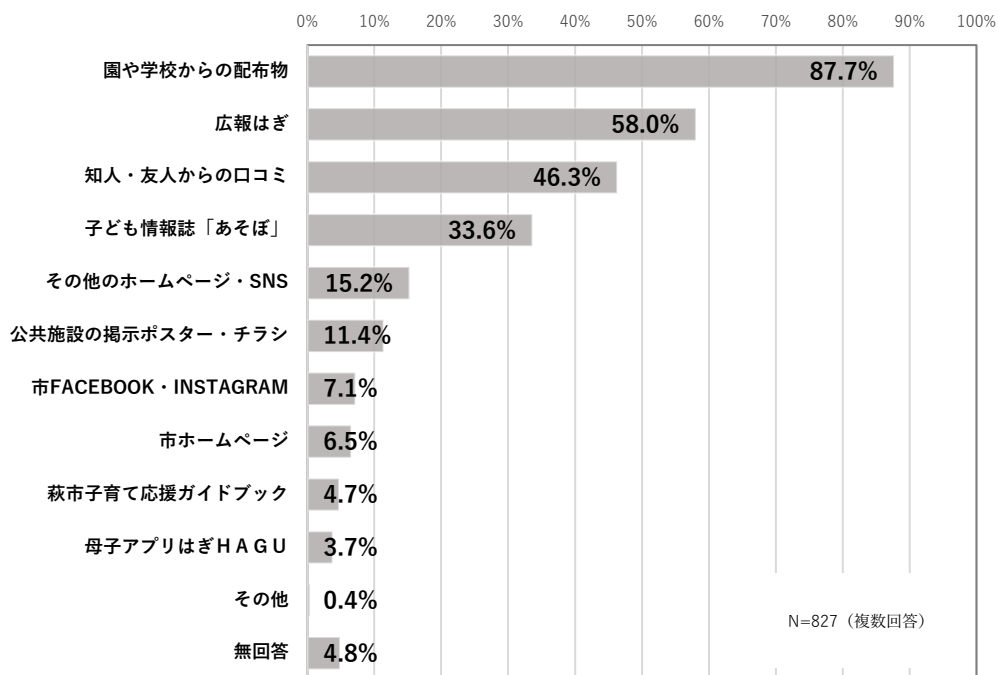


◆希望子ども数より、予定子ども数が少ない方にお伺いします。理想とする子ども数を持つ予定がない理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてを選択）



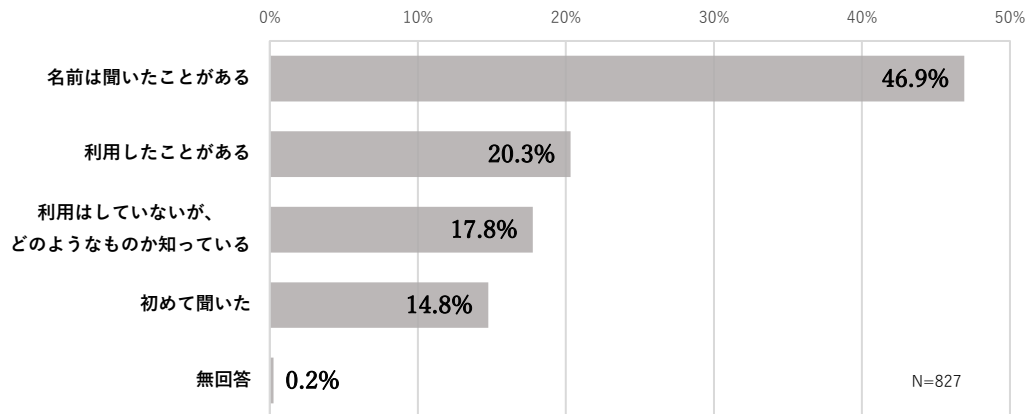
2 子育て情報の入手先について

◆子育て情報は、どのような媒体から得られていますか。(あてはまるものすべてを選択)

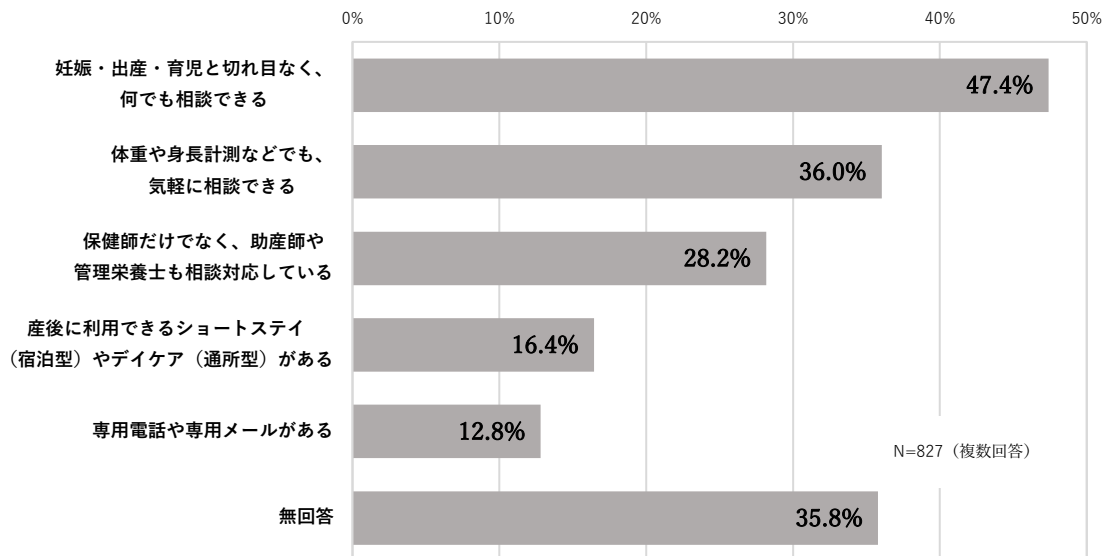


3 子育て支援センターHAGU（はぐ）について

◆子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）が、平成29年10月に萩市保健センター内に開設、令和元年7月16日から萩市総合福祉センター2階に移転されました。HAGU（はぐ）を利用したことがありますか。（1つ選択）

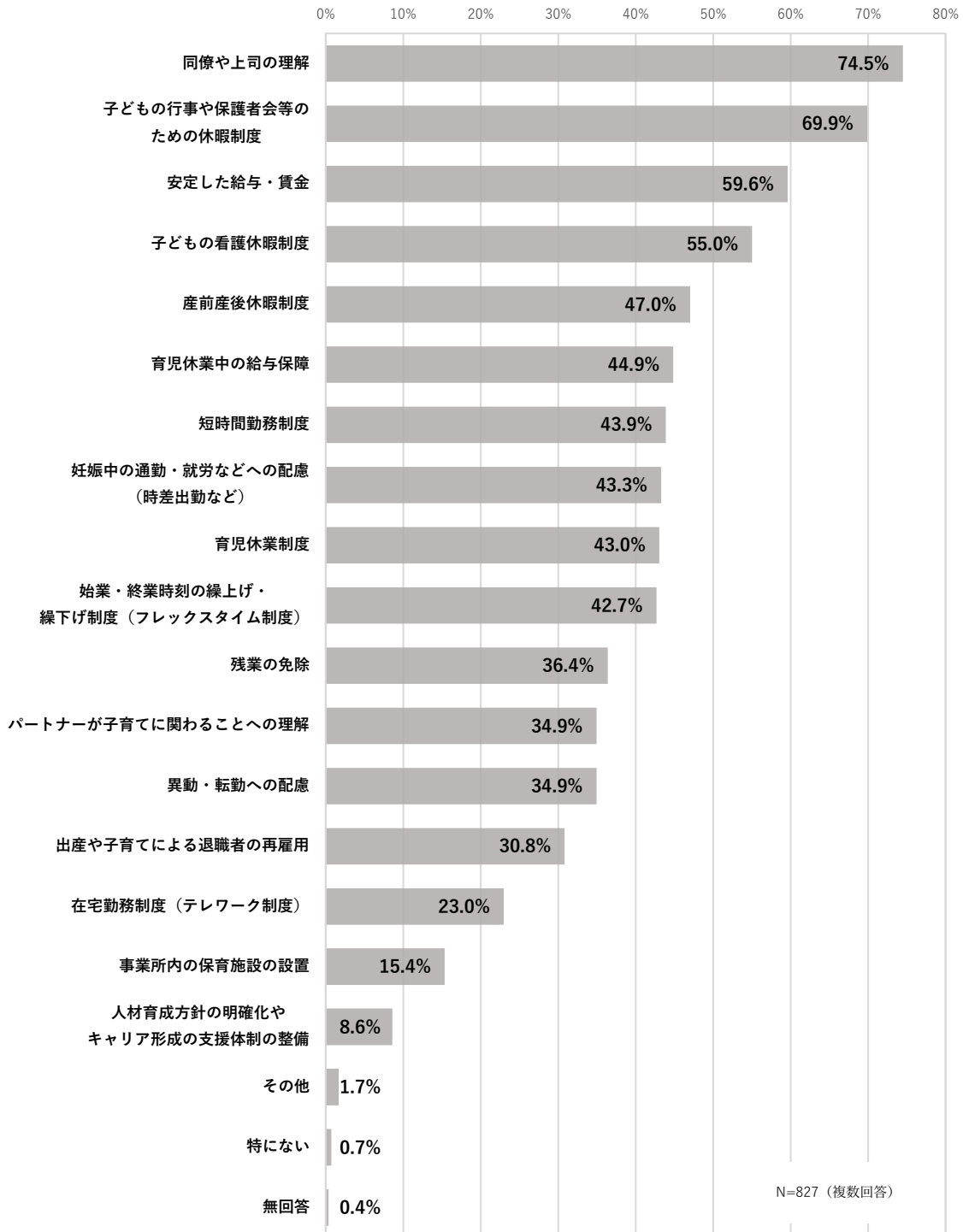


◆子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）では、どのようなことを行っているか知っていますか。（あてはまるものすべてを選択）



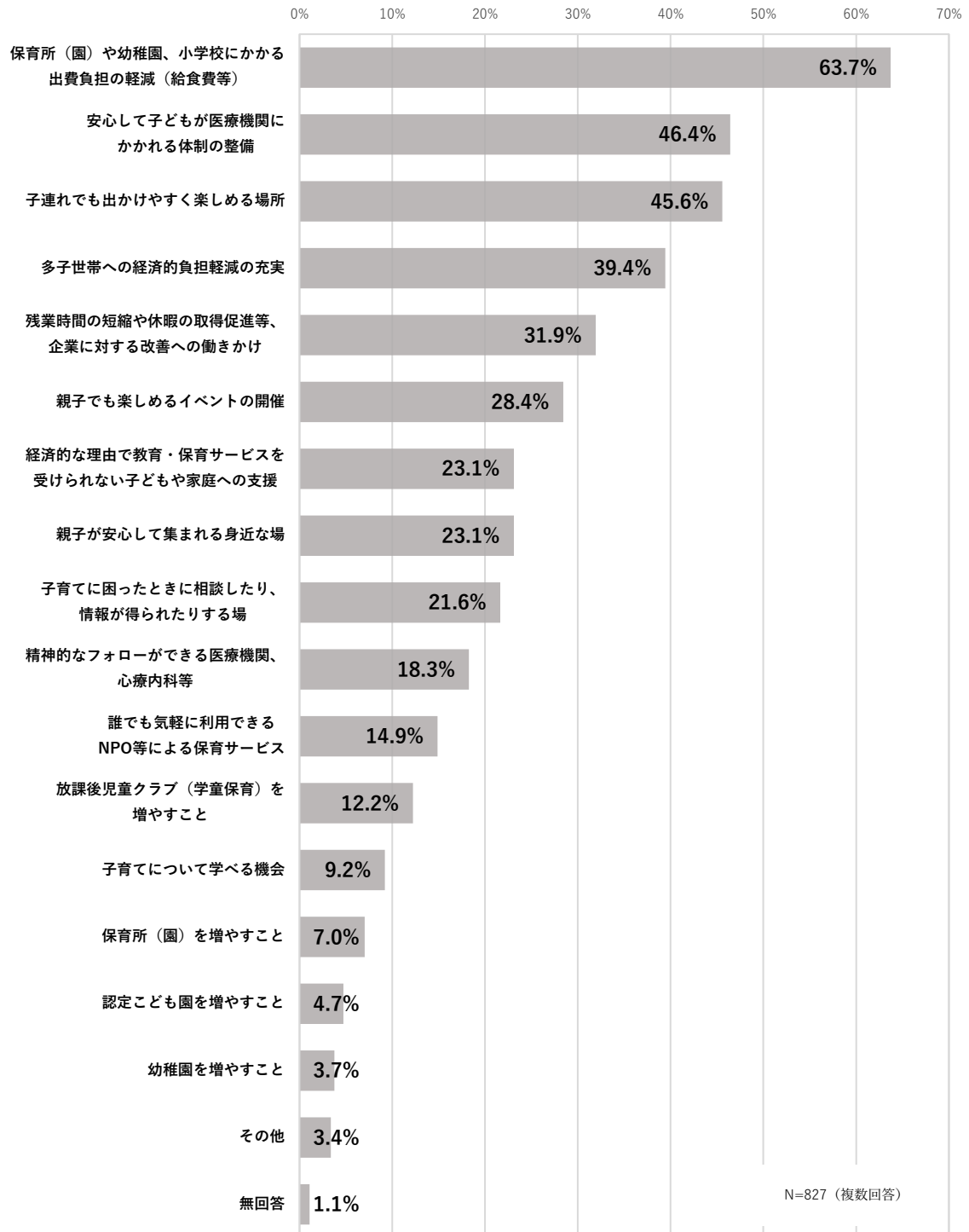
4 仕事と子育ての両立について

◆仕事をしながら安心して子育てをするために、企業などに充実・強化してほしいことは何ですか。働いていない方も、働いた場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてを選択)

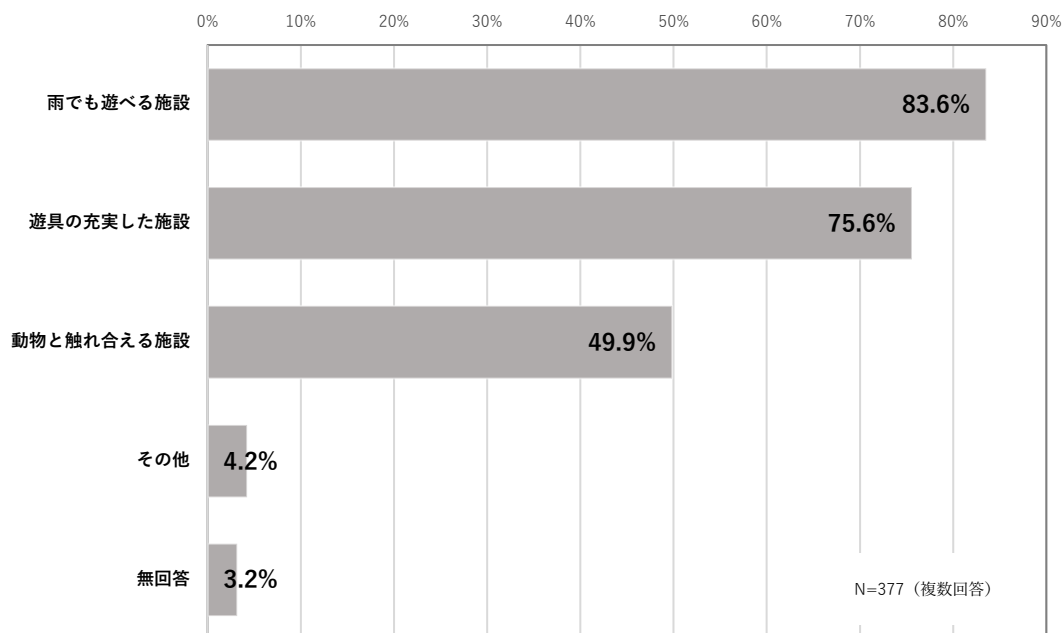


5 子ども・子育て施策について

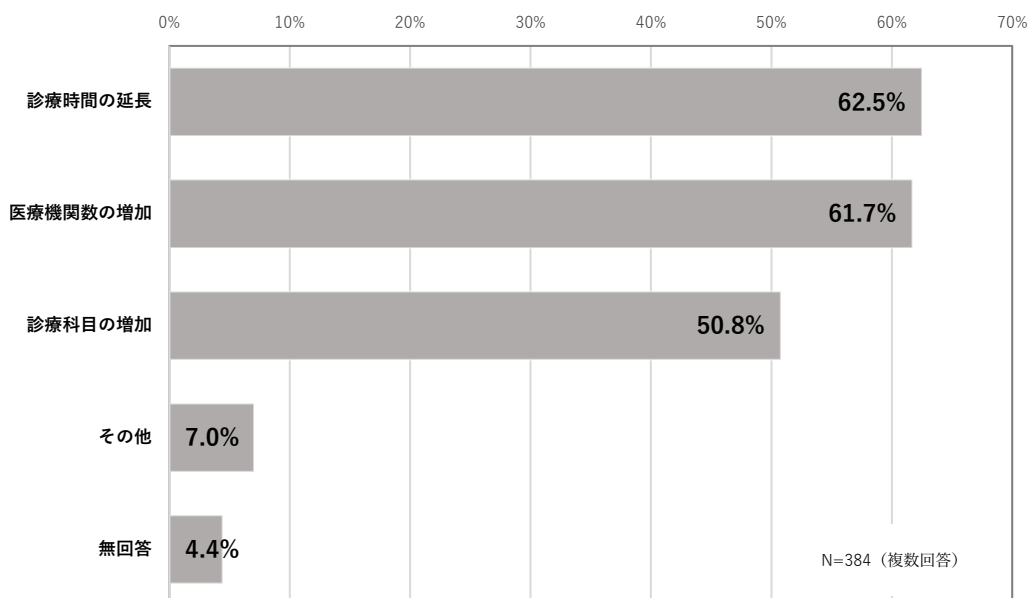
◆萩市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(あてはまるものすべてを選択)



◆「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」を選ばれた方にお伺いします。具体的にどのような場所があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)



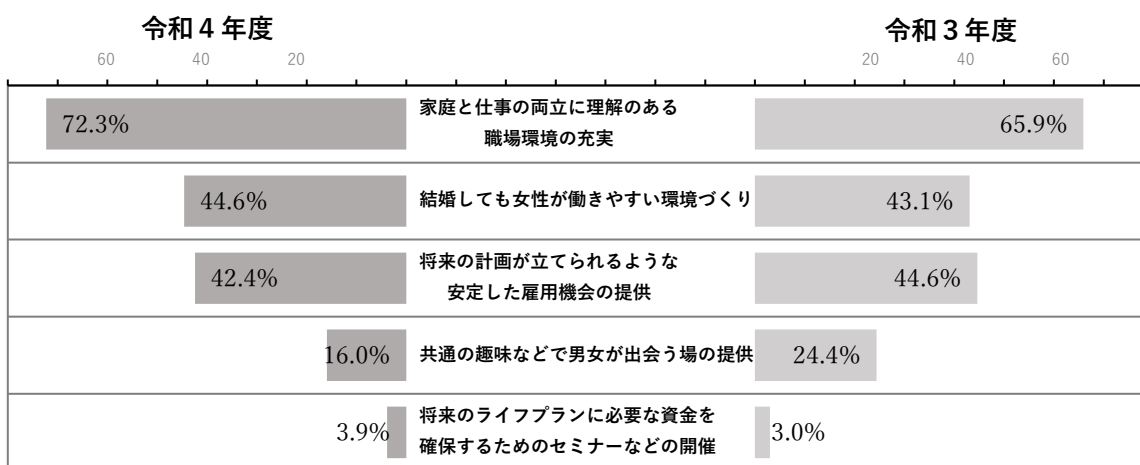
◆「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」を選ばれた方にお伺いします。具体的にどのような整備が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)



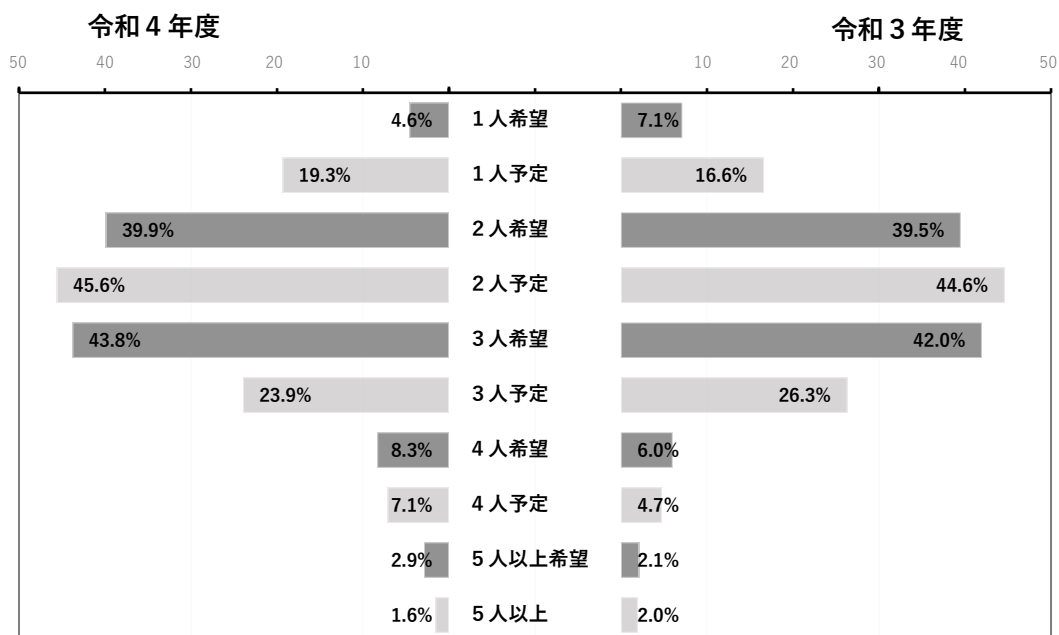
III 前年度調査との比較

1 結婚・出産・子育てのことについて

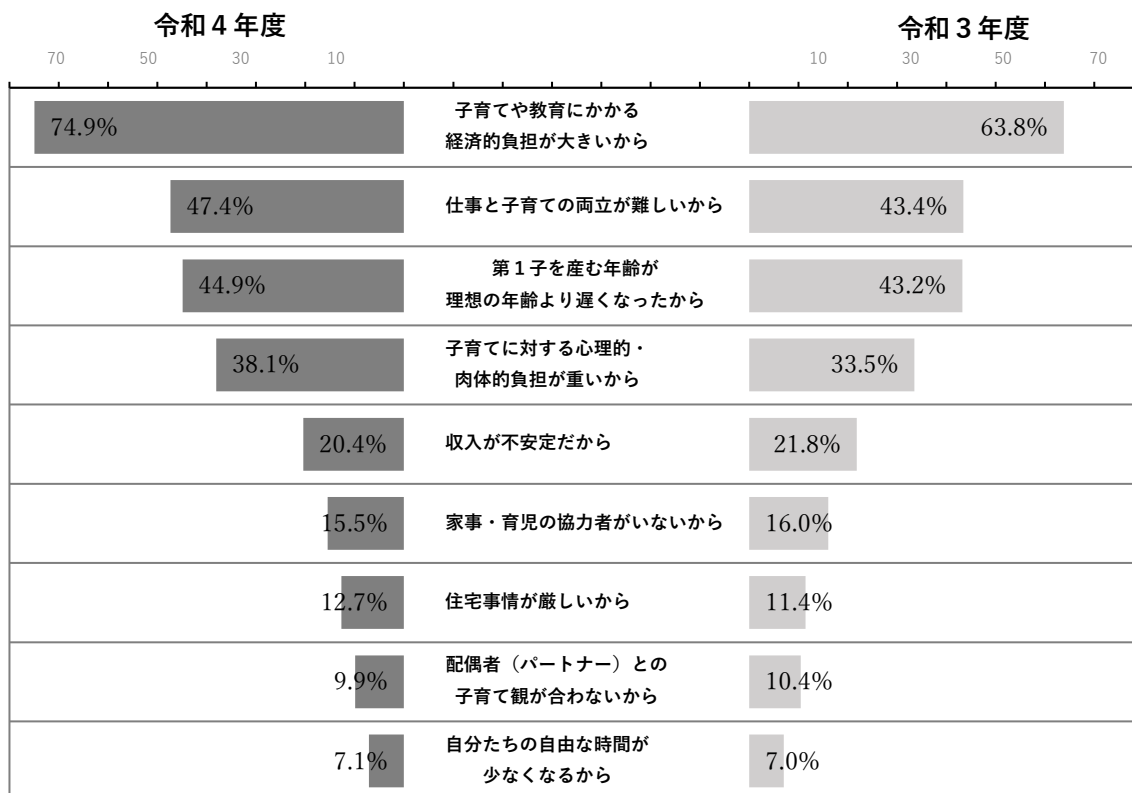
◆結婚しやすい環境づくりについて、どのような支援があればいいと思いますか。また思いましたか。



◆あなたが希望する子ども（希望子ども数）は何人ですか。また現在のお子さんを含め、今後何人の子ども（予定子ども数）を持つ予定ですか。

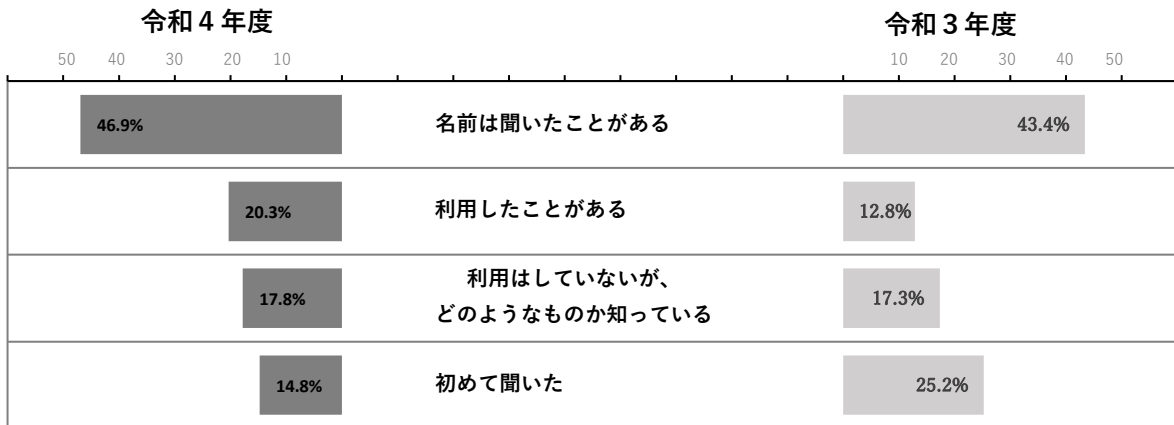


◆希望子ども数より、予定子ども数が少ない方にお伺いします。理想とする子ども数を持つ予定がない理由はどのようなことですか。

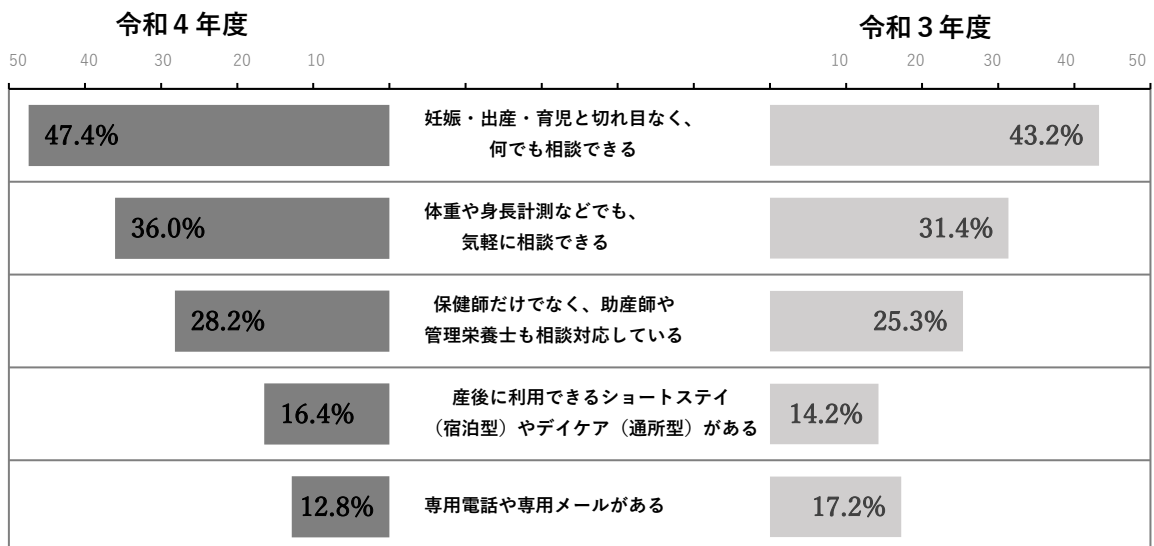


2 子育て支援センターHAGU（はぐ）について

◆子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）が、平成29年10月に萩市保健センター内に開設、令和元年7月16日から萩市総合福祉センター2階に移転されました。HAGU（はぐ）を利用したことがありますか。

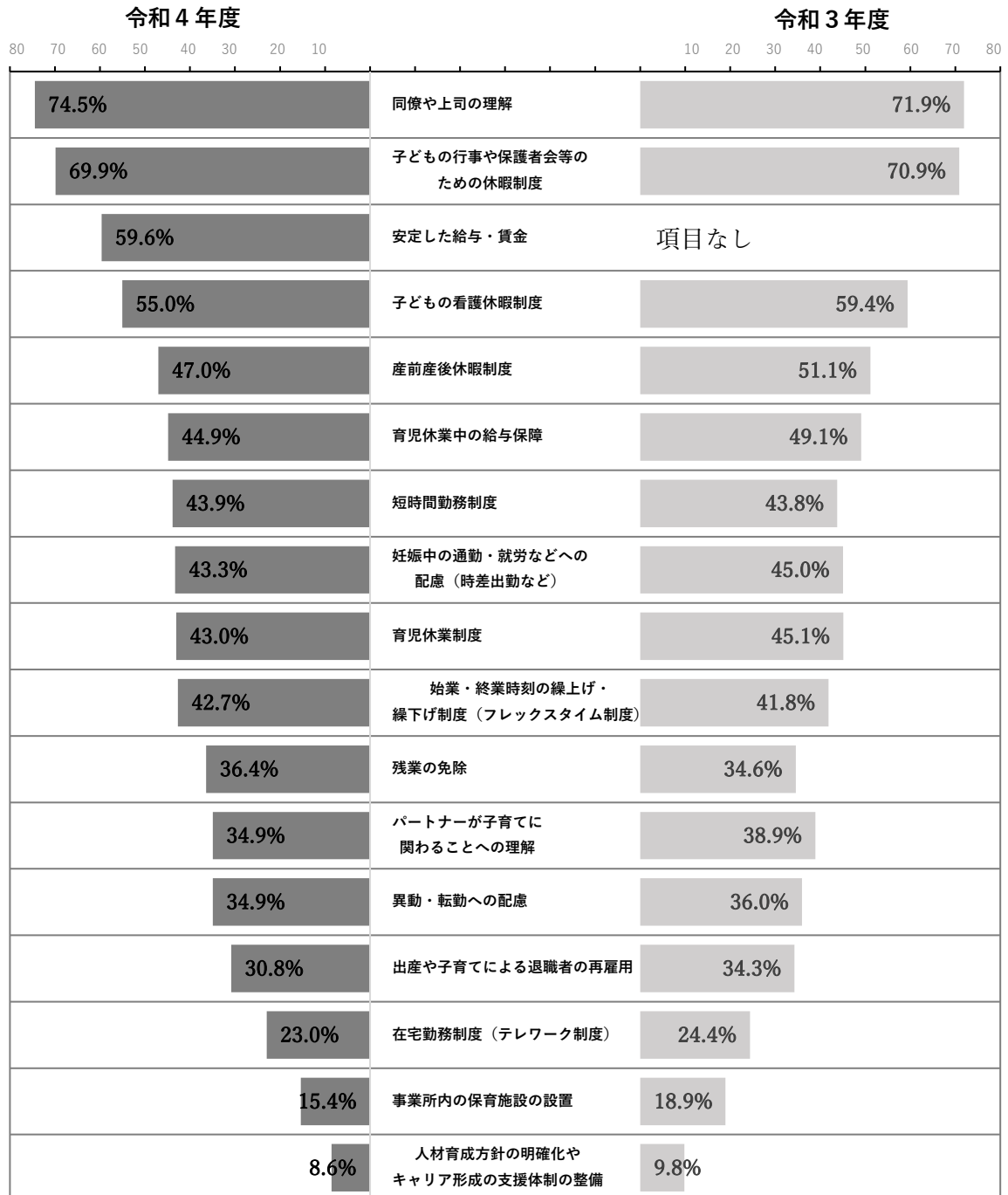


◆子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）では、どのようなことを行っているか知っていますか。



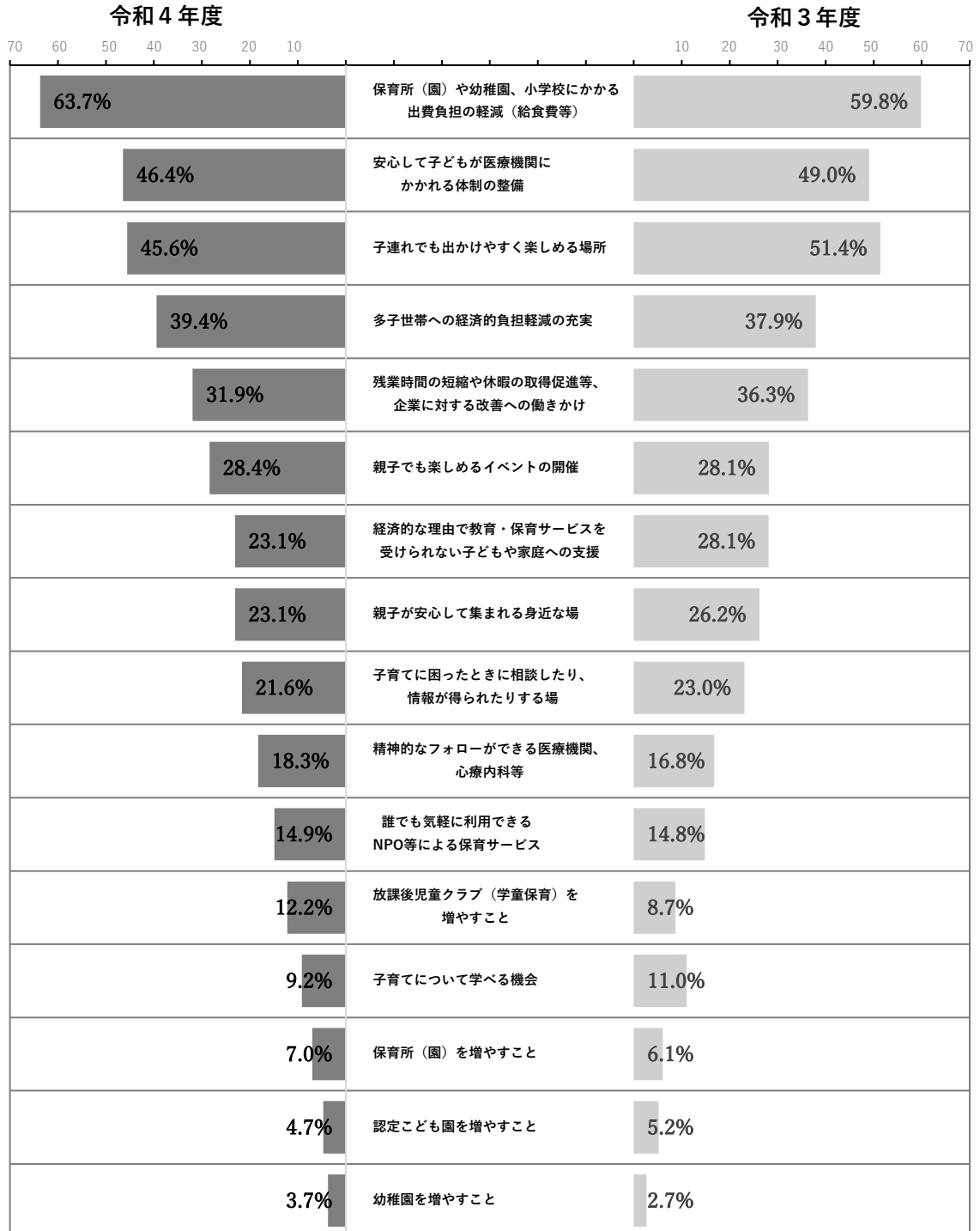
3 仕事と子育ての両立について

◆仕事をしながら安心して子育てをするために、企業などに充実・強化してほしいことは何ですか。働いていない方も、働いた場合を想定してお答えください。



4 子ども・子育て施策について

◆萩市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。



IV 総括

1 結婚・出産・子育てのことについて（2ページ、9ページ参照）

結婚しやすい環境づくりへの支援については、回答の割合が高いものから順に、「家庭と仕事の両立に理解のある職場環境の充実（72.3%）」「結婚しても女性が働きやすい環境づくり（44.6%）」「将来の計画が立てられるような安定した雇用機会の提供（42.4%）」「共通の趣味などで男女が出会う場の提供（16.0%）」「将来のライフプランに必要な資金を確保するためのセミナーなどの開催（3.9%）」という結果でした。令和3年度との比較では、「家庭と仕事の両立に理解のある職場環境の充実」という回答割合が最も増加しており、6.4%の増加でした。

これらのことから、結婚しやすい環境づくりへの支援として求められているものは、家庭と仕事の両立への理解や、女性も働きやすい職場環境など、仕事に関連する支援であると言えます。

希望する子どもの人数については、3人という回答が最多でした（43.8%）。次に2人という回答が多く（39.9%）、その他の回答は10%未満でした。令和3年度の調査でも、最多は3人という回答で（42.0%）、次に2人（39.5%）、その他の回答は10%未満でした。

一方、予定する子どもの人数については、2人という回答が最多で（45.6%）、次に3人（23.9%）、次に1人（19.3%）という結果でした。

希望する子どもの人数より予定する子どもの人数が少ない理由としては、「子育てや教育にかかる経済的負担が大きいから（74.9%）」「仕事と子育ての両立が難しいから（47.4%）」「第1子を産む年齢が理想の年齢より遅くなったから（44.9%）」「子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから（38.1%）」という回答が多くなりました。

希望する子どもの人数より少ない人数を予定している方が多く、その理由は、経済的なものや晩婚化、心理的なものなど、複合的であることが読み取れます。

2 子育て情報の入手先について（4 ページ参照）

子育て情報の入手先については、回答の割合が高いものは、「園や学校からの配布物（87.7%）」「広報はぎ（58.0%）」「子ども情報誌「あそぼ」（33.6%）」などの紙媒体という結果でした。また、併せて「知人・友人からの口コミ（46.3%）」も回答の割合が高い結果となりました。

これらのことから、紙媒体での情報が目にされやすく、保護者同士での情報交換が盛んになされている様子が伺えます。

また、一方で、母子アプリはぎHAGUなどのデジタルでの情報は回答の割合が低く、今後これらを効果的に活用するための工夫が求められる結果となりました。

3 子育て支援センターHAGU（はぐ）について（5 ページ、11 ページ参照）

HAGU（はぐ）の名前を聞いたことがある方の割合は46.9%でしたが、利用したことがある人の割合は20.3%でした。令和3年度と比較すると、「利用はしていないが、どのようなものか知っている」と「利用したことがある」の順位が入れ替わっており、「初めて聞いた」の回答の割合が下がっていることから、周知率・利用率ともに増加しています。一方で、依然として周知率と利用率に開きがあることから、実際に利用してもらうための工夫が求められる結果となりました。

HAGU（はぐ）の取組については、令和3年度と比較して、大半の取組において知っている方の割合が増加しており、特に「体重や身長計測などでも、気軽に相談できる」ことを知っている方の割合は4.6%増加しています。一方、無回答の割合が35.8%と高く、取組についても、さらに多くの方に知ってもらうための工夫が求められる結果となりました。

4 仕事と子育ての両立について（6ページ、12ページ参照）

企業などに充実・強化してほしいこととして、割合が50%を超えた回答は、「同僚や上司の理解（74.5%）」「子どもの行事や保護者会等のための休暇制度（69.9%）」「安定した給与・賃金（59.6%）」「子どもの看護休暇制度（55.0%）」となりました。「安定した給与・賃金」は今年度から新たに追加した項目ですが、その他の3項目は令和3年度の回答でも上位の回答となっていました。

共働き世帯の増加や男女共同参画社会の推進など、社会は変わりつつありますが、子育て世帯の企業への要望はまだ多く、中でもこれらの4項目は、実現が強く望まれていることが伺える結果となりました。

5 子ども・子育て施策について（7ページ、13ページ参照）

萩市に期待する子育て支援の充実としては、「保育所（園）や幼稚園、小学校にかかる出費負担の軽減（給食費等）（63.7%）」「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備（46.4%）」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所（45.6%）」という3つの回答の割合が高く、4位以下は40%未満となっています

特に、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」と「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」については、その後の具体的な内容を問う設問への回答の割合も高く、関心の高さと要望の強さが伺える結果となりました。

反対に、「保育所（園）を増やすこと」「認定子ども園を増やすこと」「幼稚園を増やすこと」という3つの回答については、令和4年度、令和3年度ともに割合が低くなっています。

都市部を中心に保育所（園）や幼稚園の不足、待機児童が課題となっていますが、本市においては事情が異なることが令和3年度に引き続き明白な結果となりました。

教育機関等にかかる出費負担の軽減や医療環境の充実に努めるとともに、親子で楽しめる場所の創出に取り組むことが求められています。

